

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	環境に配慮したベンチャー起業家育成講座		
法人名	学校法人友幸学園		
学校名	専門学校九州テクノカレッジ		
代表者	理事長 田所 徹夫	担当者 連絡先	藤 久士(とう ひさし) TEL 093-561-3914
<p>1. 事業の概要</p> <p>退職後の起業を考えている中高年を対象にして、起業家に必要な様々なマネジメントシステムを教えると共に、新たなビジネスの発見の方法を習得させ、さらに近年企業活動の上で不可欠になってきた環境への配慮についても理解させることを目的とした、ベンチャー起業家育成講座を行った。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>起業実績</p> <p>現時点で、受講生のうち1名がNPO法人を設立している。 最終目標たる成果が、NPO法人とはいえ早い段階で見られたことは、今回の事業において、一番の成果ではないかと思う。</p> <p>NPO法人を設立した受講生へのインタビューより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立までの過程はどのようなものでしたか？ 出発点は使命感(何のためにやるのか、世の役に立つ)でした そこから設立するNPOの理念をまずはっきりさせる作業を行いました すると設立における問題が分かり⇒その解決の為の行動を開始、継続する⇒見直しを行う⇒新たな問題が分かる。(この繰り返しが設立の過程と言えらると思います。) ・受講して特に役に立った講義は？ <ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニケーション 解らない人の気持ちが解かる様になった メンバーの心を一つにまとめるのに役立った ◎マーケティング 昔と同じ方法ではうまくいかないが、基本的には人の心は変わらない 色々な方法を試して、このNPOが本当に世の中の環境問題解決に役立つ様にしたい <p>②事業により得られた成果</p> <p>以下のカリキュラムと講師で講座を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> マーケティング(集客と販売) 環境関連のベンチャー企業 コミュニケーション技術 企業組織(個人・法人)／企業国際化と責任 ビジネスプラン作成 個人情報保護 開設に関する届出書・提出書類／個人と法人の税法の違い 企業組織形成の方法 環境改善に対する日本と外国の温度差 環境改善の為の行政と市民の活動 			

《講師陣》

森 康典	北九州環境ベンチャー研究会会長
中川 英和	(株)アフェットプラスワン代表取締役社長
中村 吉一	(有)ガイアサポート取締役
吉岡 真弓	(有)MJQ代表取締役
大場 清輝	(株)ピーシーシー代表取締役
中村 知哉	中村知哉 税理士事務所所長
有田 栄公	NPO法人福岡県キャリアコンサルタント協会理事長
B・デワンカー	北九州市立大学国際環境工学部助教授
中島 千雅	元北九州市環境ミュージアム館長

起業家育成テキストの完成

各講師に原稿依頼して「環境に配慮した起業家育成テキスト」を作成した。

一部講義については、講義形態や著作権等の関係からテキストに取り込めなかったが、この講座全般に渡る内容の汎用的なテキストが出来上がった。

③今後の活用

「環境に配慮した起業家育成テキスト」は本学園で学生のためのテキストとして用います。またこのテキストを福岡県内へ普及を図りたいと考えています。

④次年度以降における課題・展開

より具体的な起業方法を紹介し、起業シミュレーションなども取入れたいと考えています。今後この講座を独自に毎年実施することを計画しています。

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

環境に配慮したベンチャー起業家育成講座

講座開講日程 第1回 平成18年10月2日(月)～平成18年10月30日(月)の土・日・祝を
除く全20回(各9:30～12:30)

第2回 平成18年10月14日(土)～平成18年12月16日(土)の毎土曜日の全10回(各9:00～16:00)

講演会開催日程

第1回 平成18年10月6日(金) 13:30～15:30 「ベンチャー起業して30年の歩み」
有限会社ハシモト電子 代表取締役 橋本 満治

第2回 平成18年10月20日(金) 13:30～15:30 「独自技術を生かした企業成長の過程」
新日本非破壊検査株式会社 常務取締役 平川 重貴

第3回 平成18年10月28日(土) 16:30～18:30 「ベンチャー起業して30年の歩み」
有限会社ハシモト電子 代表取締役 橋本 満治

第4回 平成18年11月25日(土) 16:30～18:30 「独自技術を生かした企業成長の過程」
新日本非破壊検査株式会社 常務取締役 平川 重貴

第5回 平成19年3月12日(月) 15:10～16:10 「環境危機と経済」
(事業報告会において)北九州環境ベンチャー研究会 会長
NPO法人美しい地球の会 副理事長 森 康典

企業見学会日程 第1回 平成18年10月30日(月) 13:30～15:30

第2回 平成18年12月4日(土) 15:30～17:00

全体的に「わかりやすい」という評価が大部分を占めた。

これは、一般向けの講座では最も必要なことの一つであり、その意味では講座としては成功したと言えるかと思われる。各講師の方々に感謝する次第です。

「役立ちそうだ」という印象がほとんどだった。

つまり、各受講者の方がそれぞれに何らかの成果を感じているということで、講座としてとても有意義であったといえると考えられる。

以下は各講座のアンケートの1部の回答です。

◎マーケティング(集客と販売)

- ・期待値の高低
- ・集客チェックシート等は、知人の店経営にも十分使えそうです
- ・人間本能とマーケティングの話は面白かった
- ・人の心の問題 — その人の本当に欲しい物は何か?
見えない客を大切に!
自己重要感+自分をほめる

◎環境関連のベンチャー企業

- ・小さなことから失敗しながらも、経験を積んでいくことが大事とのお話がとても印象的でした
- ・講師の方の知識が深く、具体的事例が多かったため、非常に実践的な内容で あった
- ・起業と話す時は手の内を全部話してはダメですよ！
- ・ビジネスは「不」が付く所から考え出す
- ・エコマネー・エコポイントの活用法
- ・「1万円使い切る」ことをやって「2万円になる仕事」、9回やって1回成功すればうまくいく

◎コミュニケーション技術

- ・タイプ別基本的性格
- ・教室の机の配置
- ・自分の性格が再確認できた事がうれしい
- ・全てが新鮮でした
- ・以前の自分の勉強とも重なり、仕事・プライベート共今後参考にできそうです
- ・気が楽になるかも？です

◎ビジネスプラン作成

- ・人生、職業経験をキャリアとしてブラッシュアップ、ご活躍されていることに感銘受けました
- ・自分の中に、いくつもの軸を持つことの重要性
- ・20%というキーワード — アイデアを出す時、2割は文書化しない
自分のゆとりのための2割
- ・自分のポリシーを分散させると楽になる(数本の電線に分けておくと1本切れても大丈夫)
- ・「お金に走ること」は簡単だが、お金に走ることはしなかった
- ・毎日の目標を立て、生活レベルを落さない様に！

◎個人情報保護

- ・現得意先への提案に使える内容(メリット・対策)でした
- ・事例学習は大変参考になりました
- ・講師の方の話し方がハキハキしており良かった
- ・「見えないコスト」の大きさを実感できた
- ・ケース・スタディが多く、理解の手助けとなった
- ・個人情報収集は事業者のものではなく、提供した情報主体のものである
- ・個人情報保護はビジネスチャンスを手にする事が出来る

◎開設に関する届出書・提出書類/個人と法人の税法の違い

- ・社会保険料の事務手続は今まで1度2度程度で、最近行ってなかったもので、おさらいにもなり、又、はじめて聞く事もあり、役に立ちました
- ・会社を「起業」するために必要な書類や定款の重要性が大切なことを知りました
- ・青色申告の重要さ！
- ・システム作りの重要さ！
- ・個人又は法人にするかによって事業への取り組みが違う事がよくわかった
- ・社会保険未加入問題
- ・法人の中で、株主＝経営者の中小企業がほとんど(98%)を占めていること

◎企業組織形成の方法

- ・ベンチャー企業経営者のエネルギーを感じました
- ・現在の仕事にも活かそうです
- ・講師がイキイキしており、パワーをいただいた
- ・やはり体中にエネルギーがみなぎっている人は魅力的です
- ・「利他の精神」とそれから来ている講師の会社の経営理念「お役立ちと安心」
- ・これからのIT — OSのみでソフトを入れないパソコン
キャッシュレスの時代
- ・帝国データバンクの話

◎環境改善に対する日本と外国の温度差

- ・「グローバルに考え、ローカルに行動せよ」
- ・エコロジカル・フットプリント
- ・バイオスフィア2
- ・雨水浸透
- ・代車とかよりバスの方がCO₂削減につながるんだなと思いました

◎環境改善の為の行政と市民の活動

- ・エコ関連のマーク
- ・ハチドリの話
- ・折りたたみのはし
- ・大きな声で故意に「袋、要りません」「はし、要りません」と言う
- ・「スローライフ」
- ・私に出来る事
- ・行動は足元から

この講座でより詳しく知りたい内容は？

- ・自己分析の仕方をもう少し知りたい
- ・実践におとした内容であれば嬉しいです
- ・身近の所からの活動アイデアをもっと知りたい
- ・環境に優しい仕事・サービス
- ・裏の性格について
- ・楽観派・慎重派について
- ・たくさんありすぎて書けません
- ・ある題材や条件を提示してもらい、各人でプランを作り上げるワークショップのようなものがあると、より盛り上がったかと思います
- ・起業する際に「個人情報の保護に関する法律」に基づいて最低限必要な書類
(文書)
- ・税法改正
- ・税金の仕組みやコミュニケーション技術の講座を増やしてほしいです
- ・各法人の特色と利点・欠点
- ・税法関連はキリがありません
- ・企業組織形成に関するケース・スタディ
- ・宗教法人の経営計画について
- ・エコロジカル・フットプリント
- ・竹林保全活動
- ・環境ミュージアムやエコタウンセンターのやっていること
- ・ハチドリの話

【参考資料】

NPO法人設立時

NPO法人 ○○○○ 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、○○○○ という。

第2章 目的および事業

(目的)

第3条 この法人は、地域住民や子ども達と共に地球温暖化防止、水質汚染防止やその啓蒙活動を通じて今すぐできることから

地球環境問題の解決に寄与する事を目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 子供の健全育成を図る活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 地球温暖化防止事業
- ② 水質汚染の防止に関わる事業
- ③ 環境問題の啓発、啓蒙事業
- ④ 簡易型生ごみ処理器の普及事業

(2) その他の事業

- ① 竹を主とするバイオマスの有効利用に関わる事業

2 前項第2号に掲げる事業は、同項第1号に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、収益を生じたときは同項第1号に掲げる事業に充てるものとする。

第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人を賛助するため入会した団体。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上
- (2) 監事 1人
- (3) 特別顧問 1人

2 理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。

第5章 総会

(種別)

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

第6章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、理事をもって構成する。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第39条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第51条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の議決を経、かつ、軽微な事項として法第25条第3項に規定する

以下の事項を除いて所轄庁の認可を得なければならない。

- (1) 主たる事務所及び従たる事務所の所在地(所轄庁の変更を伴わない)
- (2) 資産に関する事項
- (3) 公告の方法

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第55条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、読売新聞に掲載して行う。

第10章 雑則

附 則